

平成 20 年度

消防局予算要求方針

- 目 次 -

- 1 平成 20 年度消防局予算要求総括表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 20 年度予算要求にあたっての基本的考え方・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 予算要求の重点事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - (1) 「安全・安心で、人と環境にやさしい街」
 - (2) その他の重点事業等
- 4 事務事業の見直し等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

1 平成 20 年度消防局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 19 年度 予 算 額 A	平成 20 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
総務部	5,463 (4,199)	6,336 (4,066)	873 (133)	16.0% (3.2%)
常備消防費	3,671 (3,517)	3,564 (3,429)	107 (88)	2.9% (2.5%)
非常備消防費	458 (326)	374 (329)	84 (4)	18.4% (1.2%)
消防施設整備費	1,333 (357)	2,398 (308)	1,065 (49)	79.9% (13.8%)
合 計	5,463 (4,199)	6,336 (4,066)	873 (133)	16.0% (3.2%)

()内は一般財源額

この資料中の金額は、各計数の四捨五入で表示しています。したがって、内訳と累計値とは一致しない場合があります。

2 20年度予算要求にあたっての基本的考え方

「安全・安心で、人と環境にやさしい街」の創造

市民の皆様が、毎日を安全・安心に暮らすことのできる街づくりに向けて、第1に災害を未然に防ぐこと、第2に災害発生時には迅速・的確に対応すること、この2点を念頭におき、「安全・安心を誇れる街さっぽろ」の創造を目指してまいります。

1 災害対応の充実強化

都市環境の変化や地域の状況などに的確に対応し、市民サービスの向上を図るため、効率的かつ効果的な消防体制の検討を行うとともに、空・陸の消防力の充実に向けた消防体制の確立を目指します。

重体の患者の救命率を上げるため、気管挿管や薬剤の投与など、高度な救命措置を行うことができる救急救命士の養成や必要な資機材を整備します。

2 地域コミュニティにおける火災等の抑止

全国的に住宅火災による死者が急増している中、消防法の改正により設置が義務化された住宅用火災警報器の普及促進を図り、住宅火災による死傷者の低減を目指します。

3 2008年洞爺湖サミット消防特別警戒の実施

2008年北海道洞爺湖サミットの開催にあたり、市民の安全・安心を確保するため、市内の消防警戒体制を強化するとともに、開催地に消防・救急部隊などを派遣します。

3 予算要求の重点事項

(1) 安全・安心で、人と環境にやさしい街

安全・安心に暮らすことのできる街づくりに向けて、第1に災害を未然に防ぐこと、第2に災害発生時には迅速・的確に対応すること、この2点を念頭におき、「安全・安心で、人と環境にやさしい街さっぽろ」の創造を図る。

1 日常の身近な暮らしの安心の確保

1,541百万円(41百万円)

注:()内は19年度予算額

ア 消防力の充実に向けた消防体制の確立(総務部) 1,499百万円
【新規】

機体の整備・点検による各種災害への出動不能期間を解消するため新機体を購入し、ヘリコプターが通年運航できる体制を確立する。

イ 救急業務高度化推進(警防部) 42百万円

救急救命士による¹気管挿管や²薬剤投与の実施など、救急業務の高度化に向けた体制整備や資器材の充実に図る。

【達成目標】各種講習受講者数(延べ)

- ・ 気管挿管可能救急救命士数 H18:36人 H22:92人
- ・ 薬剤投与可能救急救命士数 H18:81人 H22:183人

【20年度効果】

- ・ 気管挿管可能救急救命士数 15人(H19:51人 H20:66人)
- ・ 薬剤投与可能救急救命士数 65人(H19:31人 H20:96人)

¹気管挿管・・・気管挿管とは、心肺停止の傷病者の気管に直接チューブを挿入して気道確保するもので、62時間の講習と手術室で30症例の実習を修了した救急救命士が、平成16年7月1日から実施可能となったもの。

²薬剤投与・・・薬剤投与とは、心停止状態の傷病者の心拍の再開に寄与するアドレナリンという強心剤を使用するもので、170時間の講習と50時間の病院実習を修了した救急救命士が平成18年4月1日から実施可能となったもの。

2 災害に強い安全なまちの整備

4 百万円(0 百万円)

注:()内は 19 年度予算額

消防施設耐震補強事業(総務部)

4 百万円【新規】

耐震強度が著しく低い南消防署の耐震化を図るため、設計を行う。

【達成目標】

耐震性能の強化

H18 : - H22 : 耐震補強実施

【20 年度効果】

± 0 施設 (H19 : 0 施設 H20 : 0 施設)

(2) その他の重点事業等

その他重点事業等

1 0 5 百万円(0 百万円)

注:()内は 19 年度予算額

篠路出張所改築設計(総務部)

1 0 5 百万円【新規】

老朽化に伴い、篠路出張所の改築に向けた設計、用地購入を行う。

【達成目標】

消防施設の改築施設数

H19 : 0 施設 H21 : 1 施設

【20 年度効果】

± 0 施設 (H19 : 0 施設 H20 : 0 施設)

4 事務事業の見直し等

事務事業の見直し

内部効率

人件費の見直し

<見直し額90百万円>

一般事務費等の節減

<見直し額10百万円>